

デジタルサイネージ機能搭載
10インチ対面 AI 翻訳機

KIBT10-WH

取扱説明書

V.1.0.20200902

※ 翻訳機能を使用するには、本製品が2台必要です

《本書について》

本書に掲載された内容はバージョンによって実際の操作画面と異なる場合があります。また、製品の仕様やデザインは改良、その他理由により予告なく変更する場合がありますのであらかじめご了承ください。本書に記載されている会社名、システム名、製品名は一般に各社の登録商標または商標です。

本書で使用されている画像は開発中のものです。製品版のデザインと細部が異なる場合があります。

《搭載バッテリーについて》

本製品にはリチウムポリマーバッテリーを使用しています。リチウムポリマーバッテリーの特性上、使用環境により消耗し充電のパフォーマンスが低下します。膨張や充電不良を除くバッテリー消耗に関しましては保証期間に関わらず保証対象外となりますのでご了承ください。リチウムポリマーバッテリーを長くご使用になるには過充電と過放電にご注意ください。過充電・過放電ともにバッテリーを非常に消耗しますので、バッテリー残量に関しては20%～80%程度の間をキープしてご使用いただくことをおすすめします。また、一度過放電状態になると、再度ご使用いただける状態になるまで充電に時間がかかる場合があります。

※本製品の充電には、必ず付属の充電用ACアダプタをご使用ください。

目次

●	安全上の注意/ご使用上の注意/その他の注意		P3～P5
●	各部の名称		P6～P7
●	本体への充電 / 電源の入れ方		P8
●	初回起動時		P9～P10
●	使い方		
	・メイン画面説明		P11
	・対話翻訳		P12～P13
	・再生用ファイルの取り込みと削除		P14～P16
	・動画再生		P17
	・スライドショー		P18
	・設定		P19～P21
●	仕様		P22

付属品の確認

●	翻訳機本体		1台
●	充電用ACアダプタ		1個
●	保証書		1枚
●	取扱説明書(本書)		1冊

ご使用前に「安全上の注意」「ご使用上の注意」「その他の注意」をよくお読みのうえ、必ずお守りください。

※ここに示した項目は、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる人や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。また、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、「警告」と「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

	警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うことが想定される内容を示します。
	注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負うことが想定される内容、および物的損害の発生が想定される内容を示します。

⊘ 記号は禁止「してはいけないこと」を示しています。

ⓘ 記号は指示「しなければいけないこと」を示しています。

ⓘ 記号は留意点「覚えておくべきこと」を示しています。

※お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

◆安全上の注意

 本製品はリチウムポリマーバッテリーを使用しております。リチウムポリマーバッテリーの故障、発熱、発火、破裂の原因となりますので、火気のそば・高温下での使用や、水中への投入、電子レンジやオーブンでの加熱などはおこなわないでください。

 充電時は付属の充電用ACアダプタ以外は使用しないでください。故障、発熱、発火、破裂の原因となります。

 本体を分解、改造しないでください。火災や感電の原因となります。



 本製品を医療機器に近づけたり、ペースメーカーをご使用の方の近くで使用しないでください。医療機器に悪影響が出る場合があります。

警告

 本体や付属品に強い衝撃や振動を与えたり、加熱したり、水をかけたりしないでください。故障、発熱、発火、破裂の原因となります。

 濡れた手でACアダプタ、本体、付属品に触れないでください。火災や感電の原因となります。

 開口部から内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災や感電の原因となります。

 本製品は日本国内での使用を前提に設計されています。(This product is designed for use in Japan only.) 日本国内の家庭用電源以外で使用しないでください。故障、発熱、発火、破裂の原因となります。

 本体の動作に異常が見られる場合は使用を中断しACアダプタを抜いたあと、弊社カスタマーサポートにご連絡ください。(煙が出る、においがする、本体が異常に熱くなる、触れるとビリビリと電気を感じる、本体が変形・破損したなど)

-  航空機内の離着陸時は電源をお切りください。航空機の機器に悪影響が出る場合があります。
-  落雷の可能性がある場合は、あらかじめ電源を切り、ACアダプタを抜いてください。落雷による感電・火災の原因となります。

◆ご使用上の注意

-  ホコリの多い場所や湿度の高い場所に置かないでください。故障、発熱、発火、破裂、感電の原因となります。
-  直射日光のあたる場所や暖房器具の前など、高温になる場所で保管、使用をしないでください。故障、発熱、発火、破裂の原因となります。
-  毛布やじゅうたんなど静電気を帯びやすいものの近くや、テレビ、磁石、スピーカーボックスの近くなど強い磁気を帯びた場所には置かないでください。故障、発熱、発火、破裂の原因となります。
-  端子部分にホコリや油を付着させないでください。故障、発熱、発火、破裂、感電の原因となります。

ACアダプタを取り扱う際は、次の点にご注意ください。

- 
 - コンセントおよび本体コネクタから抜くときは、コードを引っ張らない。
 - 折れ曲がった状態や束ねた状態で使用しない。
 - 屋外で使用しない。
 - 布などでくるまない。

故障、発熱、発火、破裂、感電の原因となります。



注意

-  不安定な場所や地震などによって落下、転倒しやすい場所には置かないでください。落下、転倒により故障、発熱、発火、破裂、けがの原因となります。
-  液晶ディスプレイを強く押したり、先のとがったもので傷を付けないでください。故障、発熱、発火、破裂、感電の原因となります。
-  本製品を設置したり移動する場合は、指などを挟んだり、落下させたりしないよう十分注意してください。故障やけがの原因となります。
-  先のとがったものや硬いもので本製品の画面操作をおこなうと、本体破損の原因となります。操作する際は必ず指や静電容量式タッチパネル対応の市販のタッチペンで操作してください。
※すべてのタッチペンの動作を保証するものではありません。
-  掃除をおこなう場合は必ず電源を切り、ACアダプタを抜いたあと、乾燥した柔らかい布で拭いてください。その際には化学薬品は使用しないでください。故障、発火、感電、変色の原因となります。
-  長期間使用しないときは、ACアダプタをコンセントから抜いてください。絶縁劣化などにより故障、発熱、発火、破裂の原因となります。

◆その他の注意



本製品にはリチウムポリマーバッテリーが含まれています。廃棄する場合は絶対に「一般ゴミ」として捨てないでください。廃棄する場合は各地方自治体の条例に従って破棄してください。



翻訳機能は、本製品を2台ある状態で、それらが同一のネットワーク(またはインターネット回線)に接続されている必要があります。



無線LAN(Wi-Fi)を使用する場合、ネットワーク機器との距離や設置環境によって不安定になる場合がありますので、無線LANでの使用を推奨します。また、回線速度は上り・下り共に十分な速度を確保してください。



ネットワーク機器や環境の状況によっては、正常に通信できない場合があります。設置場所の見直しや、本製品やネットワーク機器の再起動及び設定を確認してください。



本製品はDHCPサーバー環境でのみ接続ができます。またドメインやポートを制限している環境下では使用することはできません。本製品のIPアドレスやMACアドレスなどの固定などはできません。



本製品はベストエフォート型サービスとなり、本製品による翻訳結果は、正確な結果を保証するものではありません。



熱や水、落下など衝撃による本体の破損やキズ、その他お客様による物理破損は保証対象外となります。



液晶ディスプレイの表面を押すと色や明るさのムラが発生することがあります。掃除のときなどは爪を立てたり、過度に力をいれて拭いたりしないでください。



本製品に内蔵されているリチウムポリマーバッテリーは消耗品となります。リチウムポリマーバッテリーの特性上、使用環境により消耗し充電のパフォーマンスが低下します。バッテリーの消耗に関しましては保証期間に関わらず保証対象外となりますのでご了承ください。



本製品を長期間使用しない場合は、バッテリーの過放電を防ぐため1ヶ月を目安に定期的に充電をお願いします。バッテリー性能の劣化を防ぐことができます。



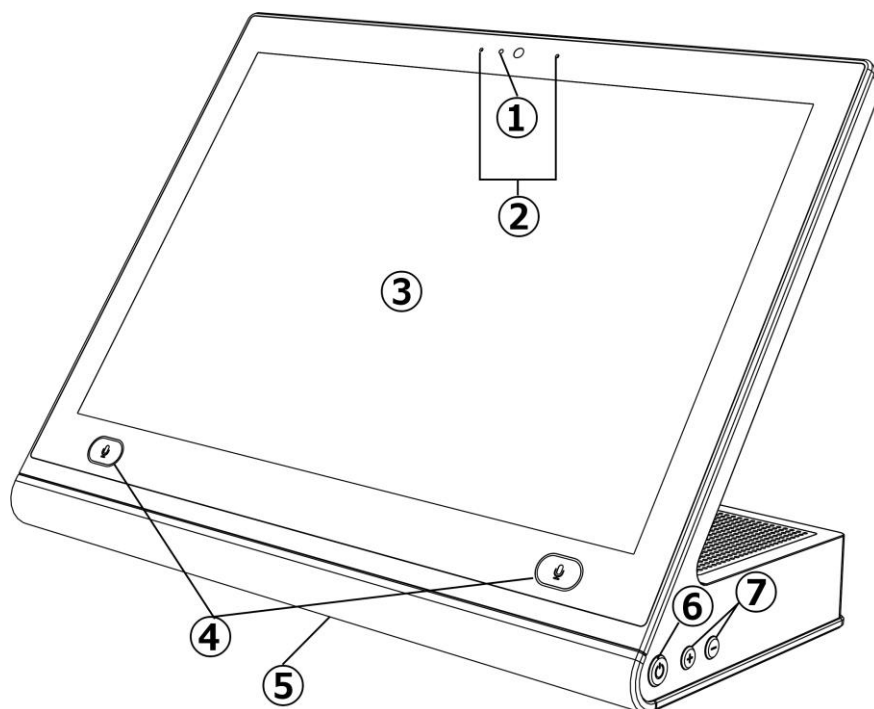
液晶パネルは、精密な技術によって製造しているため、その特性として、ドット抜けと呼ばれる液晶パネル内に点灯しない画素(黒点)や、いつも点灯する画素(輝点)、明るさにムラが感じられる場合がありますが、製品の故障ではありません。これらは製造技術上、完全になくすることができないものとなりますので保証対象外となります。

< 恵安株式会社 サポートセンター >

メール: support@keian.co.jp FAX: 03-3980-5327

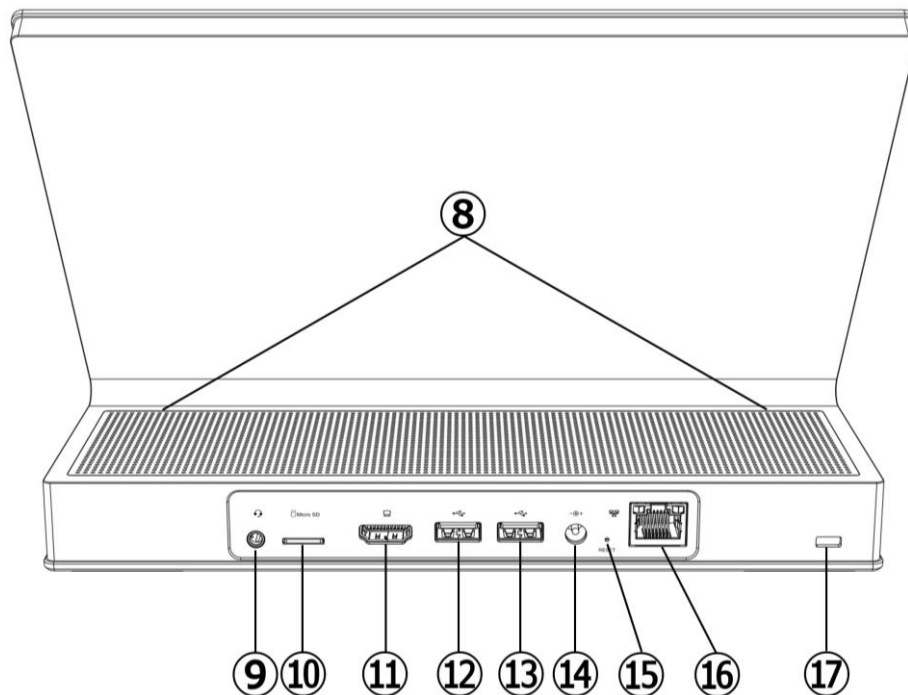
◆各部の名称 ※画像はイメージです。

本体正面



①	インジケータランプ	現在の本機の状態を表示します。 緑点滅: ACアダプタ経由で電力が供給されており、バッテリーを充電している。 緑点灯: ACアダプタ経由で電力が供給されていて、バッテリーが満充電状態。 消灯: ACアダプタが接続されていない
②	マイク	音声入力に使用します。
③	ディスプレイパネル	画面表示およびタッチ操作に使用します。
④	会話ボタン	対話翻訳の音声入力時に、タッチしながら話すことで翻訳をおこなえます。
⑤	角度調整スタンド	本製品の底部には、画面の角度を調整できるスタンドが収納されています。 スタンドを取り出すことで、画面に角度をつけることができます。 ※ スタンドを取り出した状態で、上から力を加えないでください。スタンドが破損する恐れがあります。
⑥	電源ボタン	電源のオン/オフに使用します。起動時にはこのボタンを2～3秒間押し続けてください。 起動中電源を切ったり、再起動をおこなう場合も2～3秒間押し続けることで終了メニューが表示されます。 起動中、このボタンを瞬間的に押すとディスプレイのON・OFF切り替えができます。 フリーズなどの理由で起動中、本機を強制的に終了させなければならなくなった場合は、電源が落ちるまでボタンを長押ししてください。 ※強制終了は緊急時以外ではおこなわないでください。システムが破損する恐れがあります。
⑦	音量ボタン(+/-)	音量調節に使用します。音量上げるには+ボタン、下げるには-ボタンを押します。

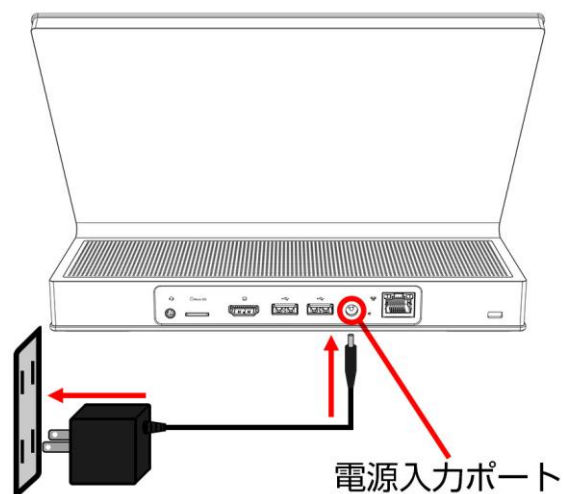
本体背面



⑧	スピーカー	音声を出力します。
⑨	3.5mm ヘッドセットジャック (オーディオ出力+マイク入力)	ヘッドセット(マイク付きイヤホン/ヘッドホン)を接続すると、音声を聞きながらマイクから音声の入力ができます。
⑩	microSDスロット	容量128GBまでのmicroSDカード(別売り)に保存した画像や動画を本製品に転送する際に使用します。
⑪	HDMI出力端子	HDMI入力に対応しているモニターなどに別売りのHDMIケーブルで接続することで、映像を外部に出力することができます
⑫	対話翻訳データ転送用 USB2.0ポート	別売りのUSBケーブルを使用して本製品とパソコンと接続することで、パソコンから本製品の内蔵ストレージを閲覧することができます。 対話翻訳のやり取りを保存する設定にした場合に、保存されたデータをパソコンへ取り込む時のみ使用してください。
⑬	再生データ転送用 USB2.0ポート	別売りのUSBメモリに保存した画像や動画を本製品に転送する際に使用します。
⑭	電源入力ポート	本体への電力供給および充電に使用します。 充電の際は付属の充電用ACアダプタをご使用ください。
⑮	リセットボタン	本体を強制的にリセット(再起動)する際に使用します。 電源ボタン長押しでも強制終了ができない場合に、先端の細いもので押してください。 ※ 強制リセットは緊急時以外ではおこなわないでください。システムが破損する恐れがあります。また、おこなう際は針など先端が鋭利なものは使用しないでください。
⑯	イーサネット(RJ45) コネクタ	モデムやルーターなどネットワークへ接続できる機器と別売りのLANケーブルを使用して、有線接続でネットワークへ接続することができます。
⑰	セキュリティスロット	盗難対策のためケンジントロックなどのセキュリティワイヤーを取り付けることができるスロットです。

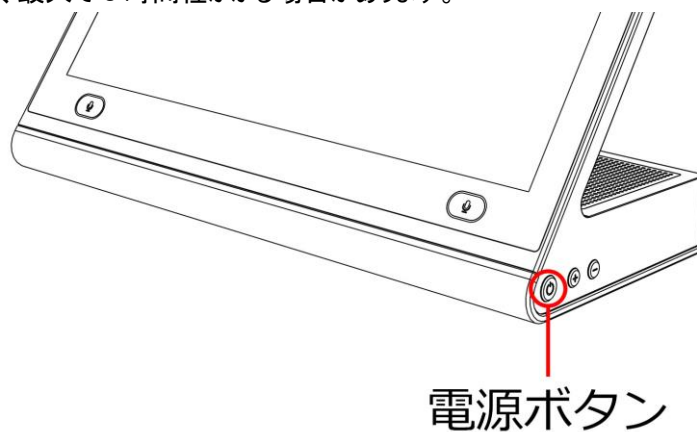
◆本体への充電

- ① 本体の電源入力ポートに充電用 AC アダプタのコネクタを挿し込んでください。
 - ② 充電用 AC アダプタのプラグ部は折りたたみ式になっています。折りたたみされている場合はプラグを引き出してください。
 - ③ 充電用 AC アダプタをコンセントに接続してください。
- ※ 初回使用時は事前にフル充電をおこなってください。充電の残量にもよりますが、最大で 8 時間程かかる場合があります。



◆電源の入れ方

ディスプレイパネルを開き、本体キーの電源ボタンを電源インジケータが点灯するまで長押ししてください。充電の残量にもよりますが、最大で 8 時間程かかる場合があります。



◆初回起動時

はじめて本製品をご使用の際は設定をおこなう必要があります。

1. 十分にバッテリーが充電されている状態で、電源ボタンを長押しして電源を投入します。
2. 起動完了すると、トップ画面が表示されますので、[設定]をタップして、設定画面へ入ります。



3. 設定画面では、まずネットワーク設定をおこないます。
無線ネットワークへの接続をおこなわず、LANケーブルを使用して有線接続をおこなう場合は、本項目をおこなう必要はありません。



(ア) 画面右上の①[ネットワーク設定]をタップし、ネットワーク設定画面へ移動します。

(イ) その後、右上の②スイッチが右側にはいって、無線ネットワークがONになっていることを確認します。OFFになっている場合はスイッチをタップすることでONに切り替わります。

- (ウ) 無線ネットワークがONになっていると、現在の環境で接続ができるSSIDが表示されます。接続したいSSIDをタップして接続設定をおこないます。タップすると表示されるウィンドウで、パスワードを入力します。入力が終わった後パスワード項目外をタップするとソフトウェアキーボードが消えますので、[確定]をタップします。



- (エ) 設定が終わり、無線ネットワークに接続されているとSSIDの隣にチェックマークが表示されます。



- (オ) 翻訳機能を使用するため、別のもう一台を同様に無線ネットワーク設定をおこないます。この時、二台を同じネットワークに接続してください。

4. 次に、同じネットワークに接続されている二台のペアリングをおこないます。



- (ア) 画面左側の①[ペアリング設定]をタップし、二台共ペアリング設定画面へ移動します。
- (イ) 画面中央の②[ペアリングコード入力ボックス]をタップして、もう一台の画面上部に表示されている「ペアリングコード」を入力します。
- ※ ペアリングコードは、コード右側の秒数カウントがゼロになると期限切れとなります。期限切れとなった場合は秒数カウントが[再取得]ボタンとなっていますので、このボタンをタップすることで、ペアリングコードが再生成されます。
- (ウ) ペアリングコードの入力後、③[ペアリング]をタップします。

5. ペアリングが成功すれば、初期設定は完了となります。

◆使い方 ・メイン画面説明

本製品の電源を入ると、下記のメイン画面が表示されます。



①	インジケーターアイコン	本製品の現在のWi-Fi接続やバッテリーの状態などを表示します。 ※ また、現在の時刻も表示されます。
②	対話翻訳	音声入力による対話翻訳をおこなう画面に移行します。 ※ 本機能を使用するには、本製品2台のネットワーク接続およびペアリング設定が完了している必要があります。
③	動画再生	本製品に保存されている動画を順番に再生します。
④	スライドショー	本製品に保存されている画像を順番に表示します。
⑤	設定	本製品の設定をおこなうことができる設定画面へ移行します。 ※ ネットワークやペアリング設定を始め、動画再生やスライドショーで再生するファイルの追加などもおこなうことができます。
⑥	現在時刻	現在端末設置されている地域の時刻を表示します。 時間設定で変更が可能です。

◆使い方 ・対話翻訳

本項目では、対話翻訳機能の使い方について説明します。

対話翻訳を使用する前に、本製品2台のネットワークおよびペアリング設定が完了している必要があります。

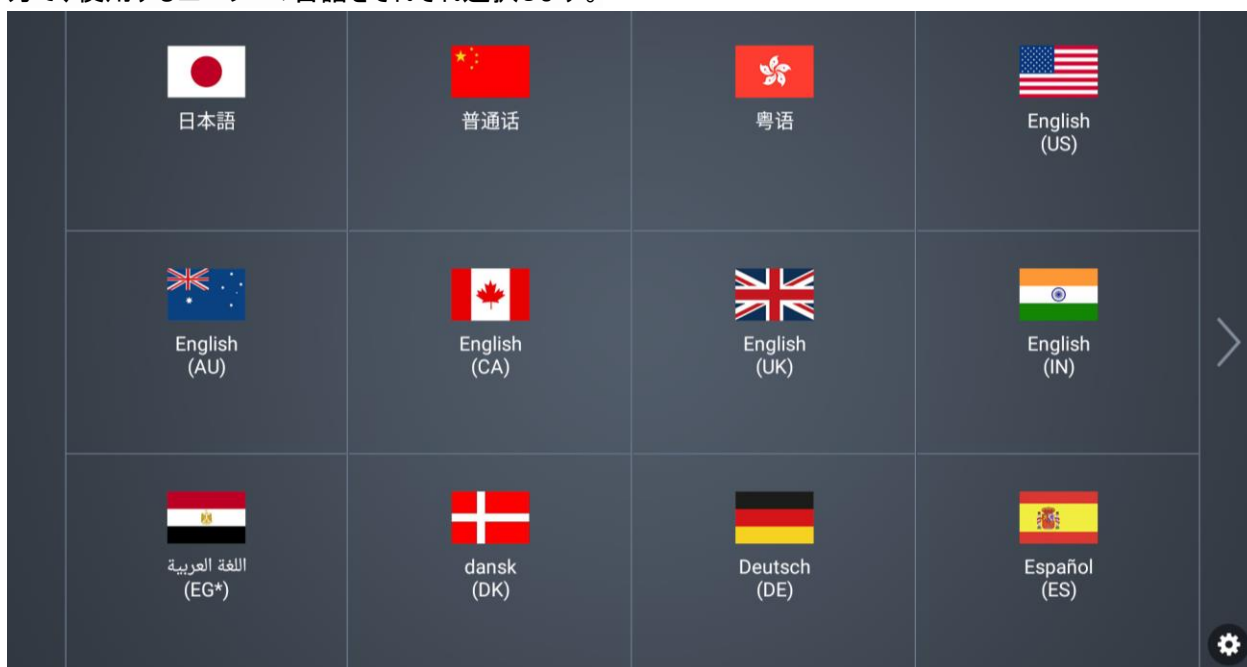
P9 「◆初回起動時」の項目を参照して、あらかじめこれらの設定をおこなってください。

1. メイン画面の[対話翻訳]をタップします。



2. 次に翻訳する言語をタップします。

この時、画面内の左右にある[<]ボタンや[>]ボタンをタップすると前後のページを表示しますので、本製品2台の両方で、使用するユーザーの言語をそれぞれ選択します。

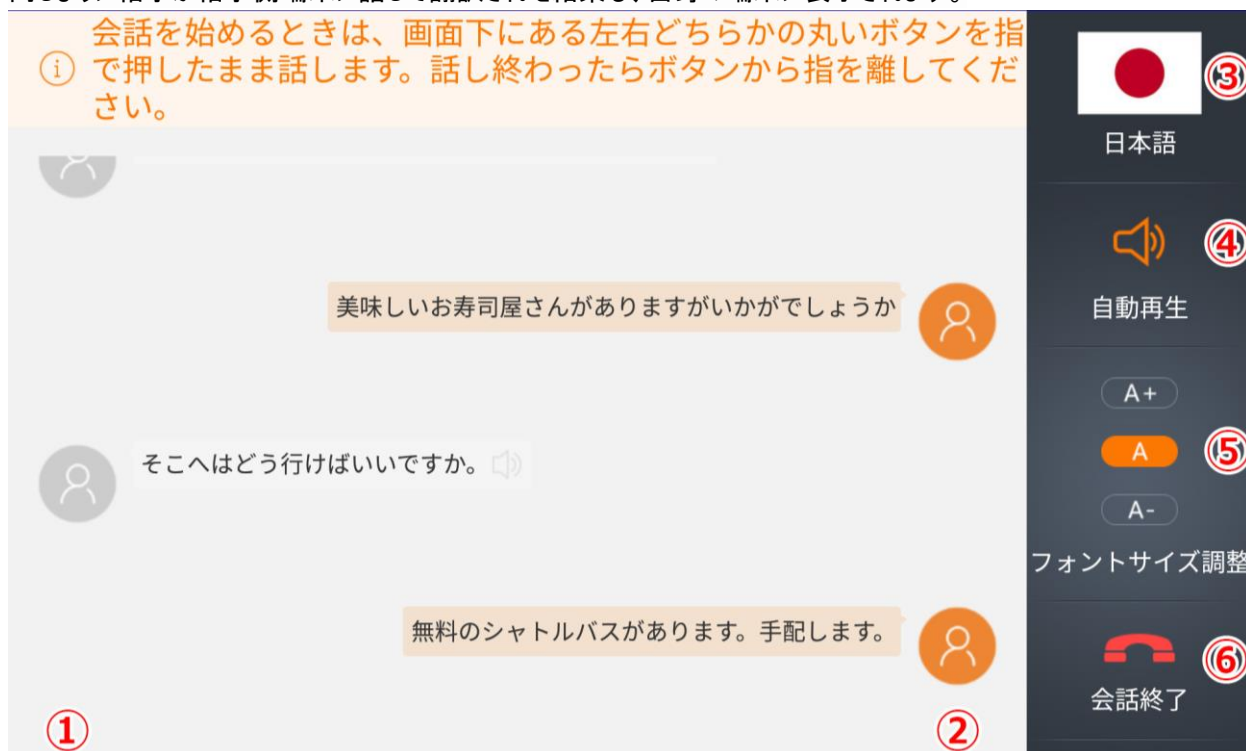


3. 言語を選択すると、翻訳画面へ進みます。

製品下部の左右にある会話ボタンのどちらか一方をタッチしたまま、翻訳したい内容を本製品に向かって話し、話し終わったら会話ボタンから指を離します。

すると、翻訳結果が両方の端末に表示されます。

同じように相手が相手側端末に話して翻訳された結果も、自身の端末に表示されます。



翻訳画面説明		
番号	項目	項目説明
①	翻訳結果	相手の端末に入力された音声の翻訳結果が画面左側に表示されます。
②	音声入力内容	自身の端末に入力された音声画面右側に表示されます。
③	選択中言語	現在選択されている言語が表示されます。
④	自動再生ボタン	相手が音声入力した内容の翻訳結果が自身の端末に表示される際に、翻訳結果の内容を読み上げる機能のON/OFFを切り替えます。表示されているスピーカーアイコンをタップすることで切り替えができます。
⑤	フォントサイズ調整ボタン	音声入力内容および翻訳結果の文字サイズを変更できます。[A+][A][A-] ボタンをタップすることで3段階の中から変更できます。
⑥	会話終了ボタン	タップすることで翻訳を終了します。

4. 対話翻訳を終了する場合は、画面右下の[会話終了]ボタンをタップします。

製品下部の左右にある会話ボタンのどちらか一方をタッチしたまま、翻訳したい内容を本製品に向かって話し、話し終わったら会話ボタンから指を離します。すると、翻訳結果が相手側の端末に表示されます。

- 本機能は、設定画面内の環境設定にあるキャラクター設定をおこなうことで、スタッフ属性側が翻訳画面へ進むと、顧客属性側に自動で対面翻訳機能の言語選択画面を表示させることができます。これにより、お客様側での操作を必要最低限に抑えることができます。

◆使い方 ・再生用ファイルの取り込みと削除

本項目では、動画再生機能およびスライドショー機能を使用するのに必要な再生用ファイルの取り込み方法と削除方法について説明します。

< 再生用ファイルの取り込み方法 >

● 用意するもの

- 別売りの最大容量128GBまでのUSBフラッシュドライブ(USBメモリ)またはMicro SDカード
- 再生させたい動画または画像ファイル
- コンピューター

1. 始めに、再生させたいファイルを用意します。

ファイルは下記のフォーマットで生成されている必要があります。

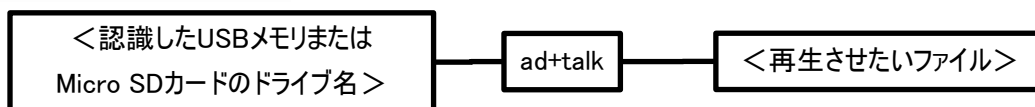
対応ファイル一覧				
ファイル種類	対応フォーマット	拡張子	最大対応解像度	対応ビットレート
動画	MP4 / AVI	.mp4 / .avi	1920 × 1080	10kbps～20Mbps
画像	JPG / PNG	.jpg / .png	1920 × 1080	

2. USBメモリまたはMicro SDカードをコンピューターに接続し、USBメモリのディレクトリ直下に「ad+talk」フォルダを作成します。

※ USBメモリまたはMicro SDカードは、FAT32形式またはNTSC形式でフォーマットされている必要があります。

3. その後、再生させたいファイルを「ad+talk」フォルダに入れてください。

コンピューターのディレクトリマップ



注意:

- 再生させたいファイルを、USBメモリまたはMicro SDカードに「ad+talk」フォルダを作らずにディレクトリ直下に保存したり、違う名前のフォルダに保存したり、「ad+talk」フォルダの中に別のフォルダを作りその中に再生させたいファイルを保存したりしないでください。本製品に取り込む際にファイルが認識されなかったり、読み込みができず操作ができなくなる場合があります。

4. コンピューターから安全にUSBメモリまたはMicro SDカードを取り外し、本製品背面の再生データ転送用USB2.0ポート(LANポートに近い方)またはMicro SDスロットに接続してください。

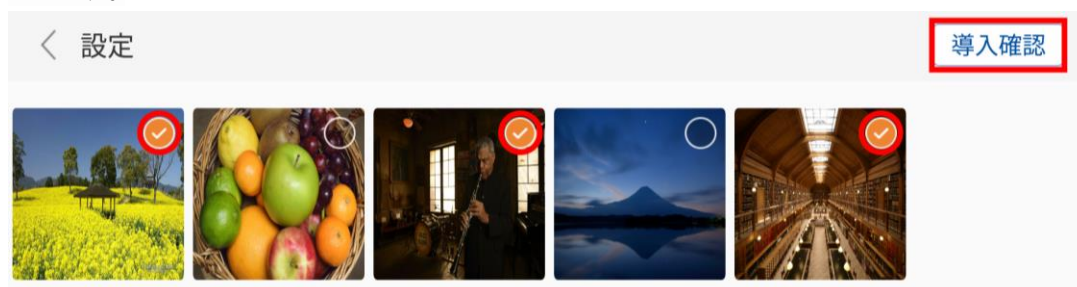
5. 本製品を操作してメイン画面の[設定]ボタンをタップします。



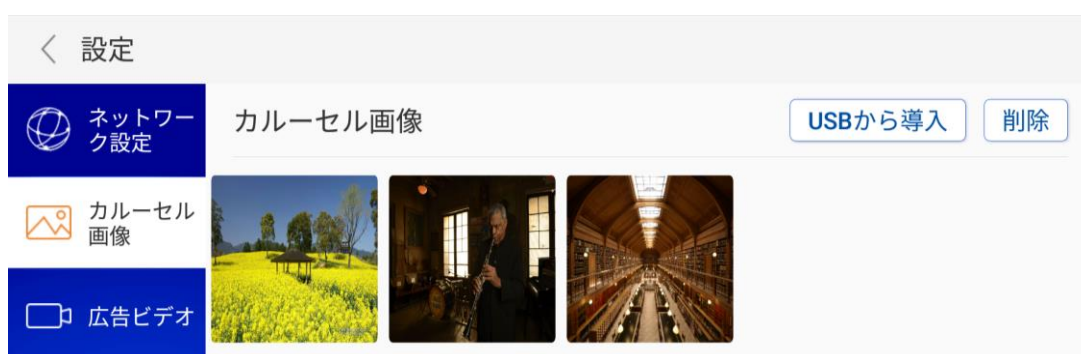
6. 設定画面で、スライドショー用の画像を追加する場合は[カルーセル画像]ボタンを、動画再生用の動画を追加する場合は[広告ビデオ]ボタンをタップすることで追加画面に移動します。
追加画面の右上にある[USBから導入]ボタンをタップします。
※ 本書ではスライドショー用の画像追加を例に挙げて説明いたします。



7. USBメモリまたはMicro SDカードに保存されている画像が認識され、取り込み可能ファイルのサムネイルが表示されます。取り込みたいファイルのサムネイル右上にある丸い枠をタップすると、チェックマークがつきます。取り込みたいファイル全てにチェックマークを付けた後、[導入確認]ボタンをタップするとチェックマークがついたファイルを本製品に取り込みます。

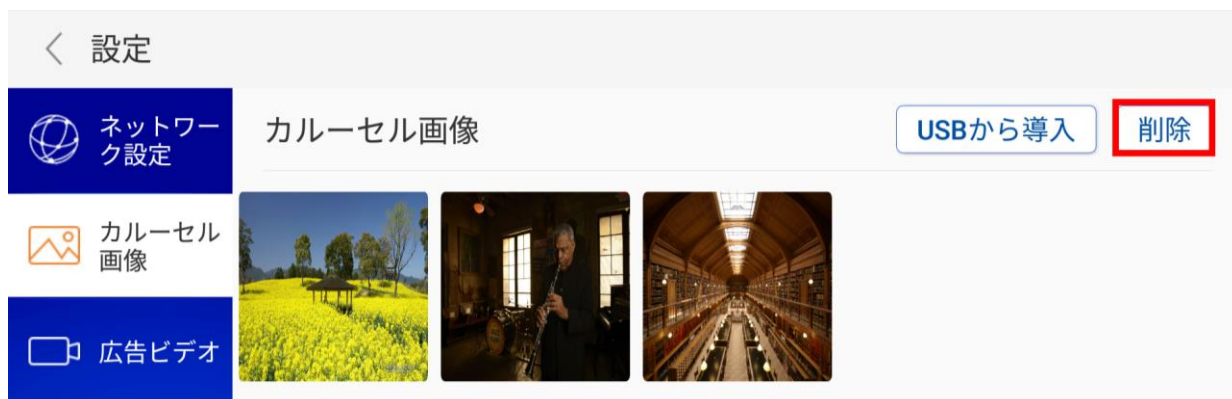


8. 追加画面に取り込んだファイルのサムネイルが表示されていれば、取り込み完了です。
取り込み終わったら、USBメモリまたはMicro SDカードを取り外します。

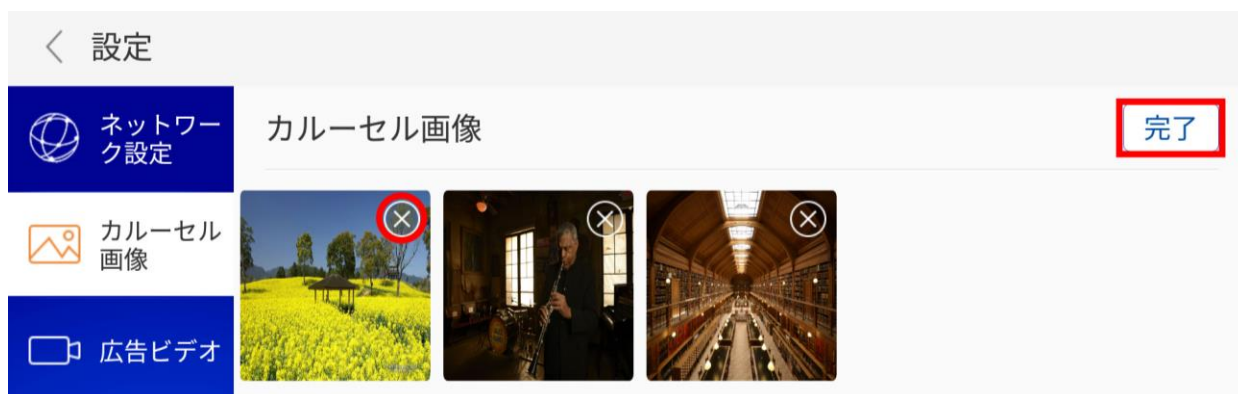


< 再生用ファイルの削除方法 >

1. 本製品にファイルが取り込まれていると、設定画面内の追加画面にファイルのサムネイルが表示されています。この状態だと、追加画面右上に[削除]ボタンが表示されていますので、これをタップします。



2. すると、ファイルのサムネイル右上に×マークが表示されます。削除したいファイルのサムネイルに表示されている×マークをタップすることでファイルが削除されます。削除が終わったら、画面右上の[完了]ボタンをタップします。



◆使い方 ・動画再生

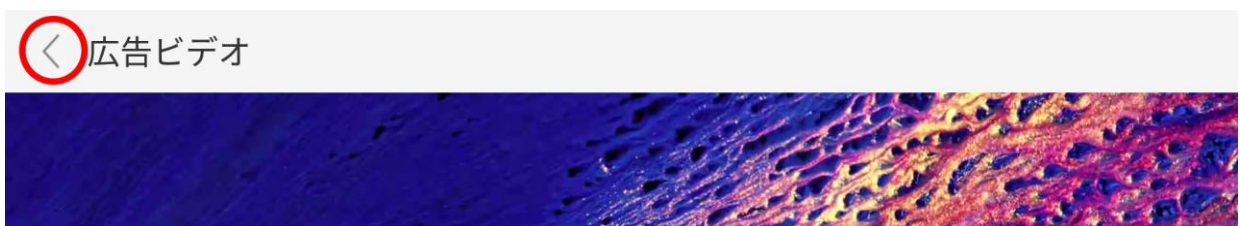
本項目では、プロモーションビデオや動画広告などの動画ファイルを再生することができる動画再生機能の使い方について説明します。

本機能を使用するには、あらかじめ再生したい動画ファイルを本製品に取り込んでおく必要があります。
取り込む方法は「◆使い方 ・再生用ファイルの取り込みと削除」の項をお読みください。

1. メイン画面の[動画再生]ボタンをタップします。



2. 本製品に取り込んである動画の再生が開始されます。
再生は、最も前に取り込まれた古いファイルから、最新のファイルへ順に再生されていきます
3. 再生を終了させるには、一度ディスプレイをタップすると上部に表示される広告ビデオバー内の[<]をタップします。



- 動画再生機能は、本製品1台でも使用することができますが、2台をペアリング後、設定画面内の環境設定にあるキャラクター設定をおこなうことで、スタッフ属性側が動画再生を開始すると、顧客属性側も自動で動画再生を開始させることができます。また再生終了する場合も同様にスタッフ属性側が終了すると、顧客属性側も終了しますので2台それぞれ操作する手間を省くことができます。

◆使い方 ・スライドショー

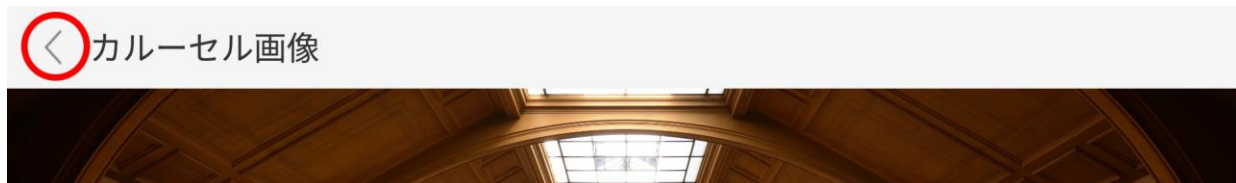
本項目では、画像ファイルを順番にスライドショー表示することができるスライドショー機能の使い方について説明します。

本機能を使用するには、あらかじめ再生したい画像ファイルを本製品に取り込んでおく必要があります。
取り込む方法は「◆使い方 ・再生用ファイルの取り込みと削除」の項をお読みください。

1. メイン画面の[スライドショー]ボタンをタップします。



2. 本製品に取り込んである画像の再生が開始されます。
再生は、最も前に取り込まれた古いファイルから、最新のファイルへ順に再生されていきます
3. 再生を終了させるには、一度ディスプレイをタップすると上部に表示されるカルーセル画像内の[<]をタップします。



- スライドショー機能は、本製品1台でも使用することができますが、2台をペアリング後、設定画面内の環境設定にあるキャラクター設定をおこなうことで、スタッフ属性側が動画再生を開始すると、顧客属性側も自動でスライドショーを開始させることができます。また再生終了する場合も同様にスタッフ属性側が終了すると、顧客属性側も終了しますので2台それぞれ操作する手間を省くことができます。
- スライドショーで表示される画像の表示秒数は、設定の環境設定内にある「スクリーンセーバーの設定」で[カルーセル画像]を選択した際に表示されるサブメニューから5秒/10秒/30秒/60秒の中から設定が可能です。表示秒数を変更後、「スクリーンセーバーの設定」を[なし]に変更した場合でも、スライドショー機能使用時は設定した秒数で表示されます。

◆使い方 ・設定

本項目では、設定画面の項目について説明いたします。

本製品の設定をおこなうには、メイン画像の[設定]ボタンをタップします。



1. ネットワーク設定

本項目では、無線ネットワークの設定をおこなうことができます。

無線ネットワークへの接続方法は「◆初回起動時」の項を参照してください。

また、一部の空港やホテルなどの公衆無線LANでの通信をおこなう場合に、各ネットワークの認証ページにて利用規約等に承諾をおこなう必要があります。そのような公衆無線LANへ接続した状態で本項目の上部に表示される「選択したネットワークが公衆無線LANの場合は、ここをタッチ」ボタンをタップすると、認証ページへ移動し認証手続きをおこなうことができます。認証方法は、サービス提供元により異なりますので、認証方法などはサービス提供元へお問い合わせください。認証完了後、公衆無線LANでの通信を始めることができます。

LANケーブルを使って有線接続されている場合は、無線ネットワーク設定は表示されずIPアドレスやゲートウェイ情報など有線接続しているネットワークのステータスを表示します。

2. カルセル画像

本項目では、スライドショー機能使用時に表示される画像の追加と削除をおこなうことができます。

詳しくは「◆使い方 ・再生用ファイルの取り込みと削除」の項を参照してください。

3. 広告ビデオ

本項目では、動画再生機能使用時に表示される動画の追加と削除をおこなうことができます。

詳しくは「◆使い方 ・再生用ファイルの取り込みと削除」の項を参照してください。

4. ペ어링設定

本項目では、本製品2台をペ어링設定をおこなうことができます。

ペ어링設定の詳細は「◆初回起動時」の項を参照してください。

5. 時間設定

本項目では、本製品の日時やタイムゾーンの設定をおこなうことができます。

6. 環境設定

本項目では、本製品のキャラクター属性設定を始めとした、全般的な設定をおこなうことができます。

項目	内容	説明
キャラクター	顧客	端末のキャラクター属性の設定をおこなうことができます。
	スタッフ	2台の端末がネットワーク接続状態かつペアリングが完了している際に、スタッフ属性の端末を操作すると、顧客属性の端末が各種モードの開始・終了を追従するようになります。 属性設定の選択後、下部の[保存]ボタンをタップすると設定が反映されます。この時キャラクター属性が以前ものから変更されていると、再確認のダイアログが表示されますので、再度設定したい属性を選択することで設定変更が反映されます。この時、ペアリングされたもう一方の端末は、反対の属性に自動設定されます。
スリープ設定	しない◆	設定した時間が経過すると自動的に端末がスリープモードに移行します。
	5 分	スリープモードに移行すると、ディスプレイ表示及び音声出力が OFF になります。
	10 分	スリープモードに移行すると、ディスプレイ表示及び音声出力が OFF になります。
	30 分	スリープモードに移行すると、ディスプレイ表示及び音声出力が OFF になります。
	60 分	スライドショーや動画再生などがおこなわれている場合はスリープモードへは移行しません。 スリープモードを解除するには、端末の向かって右側にある電源ボタンを短く一回押します
スクリーンセーバー時間	3 分◆	スクリーンセーバーが起動するまでの時間を設定できます。
	6 分	設定した時間が何もおこなわれていない状態で経過すると、次の「スクリーンセーバーの設定」項目で設定した機能を自動的に開始します。
	10 分	設定した時間が何もおこなわれていない状態で経過すると、次の「スクリーンセーバーの設定」項目で設定した機能を自動的に開始します。
スクリーンセーバーの設定	なし◆	「スクリーンセーバー時間」項目で設定した時間が経過すると、本項目で設定した機能を自動的に開始します。
	画像カラーセル	「画像カラーセル」を選択するとサブメニューが表示され、画像の表示から次の画像へ切り替わるまでの表示時間を設定できます。
	ビデオカラーセル	設定秒数は、5 秒、10 秒、30 秒、60 秒の中から選択できます。 ここで設定した表示時間の設定は、スクリーンセーバーを「なし」にした場合でも通常のスライドショーモード時の表示時間に反映されます。
システム言語	簡体字	端末の言語設定をおこないます。
	英語	端末のインターフェイス言語が設定された言語に合わせて変更されます。
	日本語◆	
	繁体字	

7. ストレージ設定

本項目では、本製品のストレージ容量の確認と、対話翻訳機能での対話のやり取りを本製品の内蔵ストレージに保存する設定をおこなうことができます。設定の変更後[保存]をタップすることで設定が適用されます。また、「保存場所」エリアにある[全消去]をタップすることで、保存されたやり取りを消去することができます。

項目	項目説明
全て保存しない	対話データの保存をおこないません。
テキストのみ	翻訳画面に表示された文章のみをテキストデータで保存します。
音声のみ	相手の入力音声の翻訳結果として自身の端末で出力された音声のみを保存します。
テキストと音声	上記テキストデータと音声データの両方を保存します。

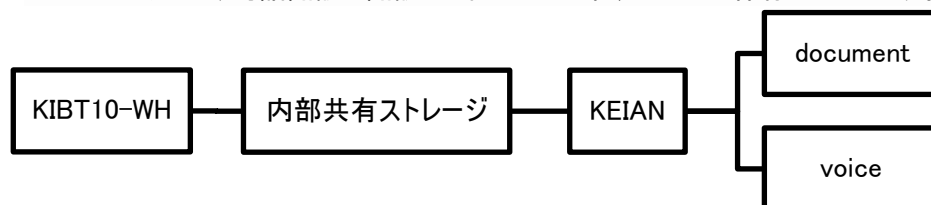
対話データの取り出し方法

注意:

パソコンと本製品を接続すると、本製品のストレージの内容が表示されますが、本項目で説明したファイル以外のフォルダやファイルへのアクセスはおこなわないでください。故障の原因となります。

- ① 別売りのUSBケーブルとパソコンを用意します。
- ② 本製品背面の「対話翻訳データ転送用USB2.0ポート」(HDMI端子に近い方)とパソコンを用意したUSBケーブルで接続します。
- ③ 下記のマップを参考に、KEIANフォルダ内のdocumentフォルダとvoiceフォルダを必要に応じてパソコンにコピーします。

documentフォルダには、対話翻訳で認識されて表示された文章が保存されています。
voiceフォルダには、対話翻訳で翻訳され再生された音声データが保存されています。



- ④ コピー完了後、USBケーブルを抜きます。

8. アップデート

本項目では、アップデートがオンライン配信された際に、アップデートをおこなうことができます。また、端末に現在インストールされているソフトウェアおよびファームウェアのバージョン確認ができます。

9. 本体情報

本項目では、端末の情報を表示します。

また、本項目内最下段には[初期化]ボタンがあり、ボタンタップすることで端末を初期化することができます。
必ずUSBメモリ及びMicroSDカードを取り外してから初期化してください。データが初期化される場合があります。
初期化すると、端末に保存されている画像や動画などすべてのデータが消去されますのでご注意ください。

◆仕様

型番	KIBT10-WH
カラー	ホワイト
翻訳可能言語数	112言語※1
サイネージ機能	対応（動画再生・静止画スライドショー）
プロセッサ	Rockchip RK3288, Cortex-A17, Quad core 64bit
プロセッサスピード	最大1.8GHz
システムメモリ	DDR3 2GB
ストレージ	32GB（システムで約7GB使用します）
対応外部ストレージ （データ転送に使用）	USBフラッシュドライブ（最大128GBまで）
	Micro SDカード（最大128GBまで）
	※FAT32形式またはNTSC形式でフォーマットが必要です。
OS	Android 7.1.2
ディスプレイ	10.1インチ 1920×1200 IPS液晶
タッチパネル	静電容量10点マルチタッチスクリーン
無線LAN	IEEE 802.11 a/b/g/n/ac
有線LAN	10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T
Bluetooth	4.1
マイク	×2 内蔵
スピーカー	8Ω 2W×2内蔵
外部音声入出力	3.5mm ヘッドセットジャック×1
映像出力	HDMI×1（HDMI1.2・HDCP2.2）
USB	USB2.0×1（データ転送用）
	USB2.0×1
サイズ	約160×244×110mm
重量	約850g
バッテリー	8000mAh 3.8V
電源	5V 3A
パッケージ内容	翻訳機本体 充電用ACアダプター 取扱説明書 保証書
取得規格	技術適合・PSE
保証期間	購入日より1年間

※1 翻訳機能を使用するには本製品が2台必要です。

対応ファイル一覧				
ファイル種類	対応フォーマット	拡張子	最大対応解像度	対応ビットレート
動画	MP4 / AVI	.mp4 / .avi	1920×1080	10kbps～20Mbps
画像	JPG / PNG	.jpg / .png	1920×1080	